

第 10 回「自然とふれあおう！ わんぱく KIDS」  
IN 宇佐美

## 報 告 書

2009 年 8 月 26 日

## ご挨拶

日頃より、私どもの活動にご理解ご協力ありがとうございます。

本年も「自然とふれあおう！わんぱく KIDS」を無事に開催できました事、ご報告させていただきますと共に感謝申し上げます。

例年通り班別行動を基本とし、宇佐美学園を拠点に、磯浜川遊び、干物づくり、裏山探検、竹工作、生態観察などの体験プログラムを行いました。インフルエンザ、台風、地震なども避けられ、参加児童にとって充実したものであったと考えております。

本年で第 10 回という節目を迎えることができました。

第 1 回を群馬県の新治村で開催、第 2 回より中央区のご協力により宇佐美学園を利用させていただいております。

多くの団体や個人の方々のご理解により開催することができ、年々発展してきているものと、永年にわたるご支援に NPO を代表し重ねて心より感謝申し上げます。

このキャンプは、「青少年の健全育成」「ボランティアリーダーの育成」を目的とし、「自分のことは自分でやる。一人ではできないことは協力してやる。できる人はできない人を助ける。」理念である「自立と共生」という社会の基本を伝える場です。

過去に参加された児童も、中学生、高校生、大学生となりリーダーとして参加し大変活躍してくれております。またリーダーも卒業後、教職を目指す学生として大変勉強になったと言ってくれています。

それぞれが、志と使命感を持ち活躍しているのを見聞きし、10 年間の成果と感慨深いものがあります。

このキャンプ体験を通し、参加者の自立心・共助心・創造力醸成の一助となれば幸いと続けてまいりました。しかし、一番の受益者は児童や学生ではなく、10 年間多くの児童や学生と出会えた私自身だと思います。ここで得た貴重な体験を少しでも社会のために還元していきたいと改めて決意する所です。

今後も中央区の子供たちのため、地域教育力の一助となるべく理念「自立型共生社会の実現」に向け活動してまいりますので、ご理解、ご支援よろしくお願い申し上げます。

平成 21 年 8 月 26 日

特定非営利活動法人  
フレンドシップキャンプ  
理事長 喜多 隆 正

## 事業概要

構成団体 主催 特定非営利活動法人 フレンドシップキャンプ  
後援 中央区教育委員会  
特定非営利活動法人 東京中央ネット  
協力 中央区立宇佐美学園、  
たんぼの恵を感じる会、社団法人小田原青年会議所  
酒匂川水系のメダカと生息地を守る会  
日本新薬株式会社小田原総合製剤工場  
宇佐美江戸城石丁場遺跡保存会、あそび心研究所

主催団体理念 「自立型共生社会の実現」

事業名称 第10回「自然とふれあおう！ わんぱく KIDS」IN 宇佐美

事業目的 「青少年の健全育成」  
「ボランティアリーダーの育成」

事業概要 リーダー2名及び3から6年生の男女各1名計10名の班を12班構成。  
班別行動を基本とし、海・山・川の豊かな自然環境の中で各プログラムを体験する組織キャンプ。寝室は学年男女別の8室。

開催場所 中央区立宇佐美学園とその周辺地域及び小田原市内

開催日 平成21年8月5日から8月9日 4泊5日

参加児童 3から6年生の男女各12名計96名 内欠席1名（応募児童233名）

### ボランティア人員

大学生 24名（文教、帝京、成蹊、早稲田）  
高校生 1名  
中学生 2名  
地域の方 15名（宇佐美地域、小田原地域）  
NPO会員 5名

宇佐美学園職員 約20名

問い合わせ先：特定非営利活動法人（NPO法人）フレンドシップキャンプ  
アドレス：[kids09@tokyochuo.net](mailto:kids09@tokyochuo.net)  
理事長：喜多 隆正 03-6226-6611

記録写真集は報告書と共に、9月中旬頃までにホームページに掲載いたします。  
URL：<http://www.npo-fc.or.jp> トップページ わんぱく KIDS 過去の事業報告

## 主なプログラムのポイント

全体目標 「楽しむ、役割を持つ、協力する」

わんぱく KIDS 3つの約束

1. 「あいさつ、返事をしましょう。」  
楽しくすごすには、コミュニケーションが大切。
2. 「時間を守りましょう。」  
安全・快適に過ごすには、ルールを守ることが大切。
3. 「生き物は観察が終わったらもとに戻しましょう。」  
自然との共生は、理解とやさしさが大切。

食事

手をつける前に自分の食事量を考慮し、同じテーブルのお友達とシェアをし残さないようにする。嫌いなものは目標量を決めて食べる努力をする。

班旗づくり

自分の目標と班の目標を旗に描き発表、期間中の班旗とする。  
キャンプでの個人の目標を確認する。  
話し合っって班の目標を立てることで、仲間意識を高める。  
班の一員となることにより自己意識の醸成を促がす。

ひものづくり・田んぼでの農作業

干物や切り身の魚も海川で泳いでいた魚であることの意識付け。  
人の食べ物は、他の生き物の命をもらっているという意識付け。  
家族をはじめ多くの人たちの労力があって食べ物があることの意識付け。  
自然の恵を得て人も生きているという環境意識の高揚。

山・川・海での自然観察

都会で出来ない体験により自然への理解を深める。  
自然は、人に恵を与えてくれる反面危険も多く、壊れやすいという気付き。

工作

生活や遊びの道具を作ることで創意工夫し物を作る楽しさの気付き。

全体ゲーム

班で協力すること。別の班の友達との交流促進。

カレーづくりとコンテスト

最後の夕食を班共同で作ることで、すべてのプログラムの集約とする。

## スケジュール

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
7:00	スタッフ集合	起床・ラジオ体操	起床・ラジオ体操	起床・ラジオ体操	大掃除
	集合受付	朝食 学園食堂	朝食 学園食堂	朝食 学園食堂	朝食 学園食堂
	バス出発				大掃除
8:30	トイレ休憩	海岸へ出発	班別行動	ひもの作り	自由時間
		宇佐美海岸	・ 竹細工&工作		退所式
	小田原到着		・ 裏山遺跡散策		宇佐美学園出発
	田んぼ作業		・ プール遊び		
	小川生態観察				
	昼食 弁当		昼食 学園食堂	昼食 学園食堂	小田原到着
12:00	田んぼ作業	昼食 弁当	班別行動	班別行動	昼食 弁当
	小川生態観察				一夜城公園
				カレー作り開始	小田原出発
	小田原出発	宇佐美学園到着			トイレ休憩
		風呂	風呂		
		班別行動			
	学園到着			夕食 中庭	
	入所式・風呂			風呂	中央区役所到着
17:30		夕食 学園食堂	夕食 学園食堂		解散
	夕食 学園食堂		風呂		
		宇佐美の歴史・石丁場講演			
	旗づくり		カレー食材取りゲーム	発表会	
	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	
21:00	消灯	消灯	消灯	消灯	
	リーダーミーティング	リーダーミーティング	リーダーミーティング	リーダーミーティング	

## 日誌

特定非営利活動法人フレンドシップキャンプ  
井出 薪之介

第1日目(8月5日 水曜日)  
天候：晴れ

早朝、中央区役所前に集合。

緊張している子。比較的余裕がある子。それぞれです。

バスは児童95名を乗せて、一路小田原へ。保護者の方が手を振るのを見て、寂しそうに返す子もチラホラ・・・。

途中、海老名SAにて休憩。この少ない時間の中、子どもたちをまとめてくれるのが、リーダーたち。自己紹介などを取り入れ、うまくつないでくれていました。これが奏功し、その後のバスの中の雰囲気はとても明るいものになりました。

そうしていよいよ、バスは初日のメインプログラムを行う、小田原の桑原に到着。

ここでは、地元の団体から協力を得て、「田んぼ体験・小川遊び・生態系観察」をローテーションで行いました。

田んぼ体験。はじめは、なかなか田んぼに入ろうとしない子どもたち。しかし、リーダーを先頭に一人・・・二人・・・と入っていくと、そこからは、みんながこぞって入っていきました。田んぼの泥は普段ではなかなか味わえない、なんとも言えない感触のようです。田んぼの体験中には転んでしまう子も！でも泥だらけになっても子どもたちの笑顔が絶えませんでした。

昼食タイム。暑い日差しを避けるために、桜並木の下で、みんなで食べます。都心と違い、日陰に入ると、風が涼しいのが印象的です。子どもたちは、おなか

が空いたのか、それとも早く遊びたいのか、あっという間に昼食を終了

この小田原の小川には、メダカをはじめ、絶滅危惧種に指定されているメダカやデンジソウといった動植物が多数生息しています。田んぼと同じく、都会に暮らす子どもたちにとって、小川に入ることも貴重な体験。地元の人に教えられたとおり、大きな網や虫カゴなどを使って、生き物を追い、観察。観察後は自然に返すのがわんぱくKIDSのルール。自然の大切さにもふれることができた時間になりました。

その後はいよいよ5日間の滞在先である、中央区立宇佐美学園へ。

子どもたちは自分の荷物を持って、学園までの長く、急な坂を登ります。

弱音を吐く子は少なく、みんな自分の荷物を持って学園に着くことができました。エライ！学園到着後は入所式を終え、入浴と夕食で疲れをとりました。

夜のプログラムでは班ごとに旗を作成。あみだくじで旗の色を決め、ペンやマジックで思い思いにデザインをしていきます。また旗にはそれぞれの班のわんぱくKIDSでの「目標」を記入。「仲間」「思いやり」「自分できることは自分でする！」・・・などなどが班ごとに書いてありました。

明日は海で遊ぶ一日。降水確率は90%・・・。まだ遊び足りない子、ホームシックな子、そしてリーダーもスタッフも、心にてるてる坊主を作って、1日目を終えました。

第2日目(8月6日 木曜日)  
天候：曇り

朝は子どもたちの走り回る音で起床？  
とにかく朝から元気です。

そのせいか、前日の予報では降水確率  
90%・・・であったにも関わらず、気持ち  
のいい天気になりました。熱中症になり  
そうなほど暑くもなく、なんとも海日  
和なお天気です！わんぱく KIDS の海  
の日は雨が降らない！というジンクスが  
今年も継続しちゃいました。(おとしはサ  
メが出ましたが・・・笑)

一日の始まりは、グラウンドに集まり、  
ラジオ体操。胃や腸を動かすことで体調  
が整い、食欲も増します。朝食後は中庭  
に全員集合。ここから班ごとに列を作り、  
徒歩で、前日に作った旗を目印に宇佐美  
海岸へ。子どもたちとはいえ、95人の大  
移動はなかなか荘厳です。

海岸に到着後、全員に赤い水泳帽が配  
られ、準備運動をし、イザ海へ！この日  
は、適度に波があるだけでなく、時間帯  
が引き潮で磯浜も広く、海水浴にも磯浜  
遊びにも絶好です。

海水浴組はリーダーと一緒に、沖の方  
へ。ピピピーッ！！あまり沖の方に行き  
すぎると、監視しているスタッフから注  
意のホイッスルが鳴ります。しっかりと  
安全管理されているので、子どもたちも  
安心して遊ぶことができます。

磯浜遊びを楽しむ子どもたちは、ハコ  
メガネや、網などを使って、生き物を観  
察。小魚やカニ、貝、ナマコ...様々な  
ものが水槽に溢れました。

そんな子どもたちのそばを、モリを持  
った地元の漁師？の方が通って行きます。  
そして、岩場をなにやら物色している様  
子。その一挙手一投足に子どもたちも注  
目しています。そして一閃！モリを岩場  
の陰に突いたかと思うと、なんと！大き  
なタコが！！これには子どもたちもビッ

クリ！！浅瀬のところにもこんなタコが  
生きているんですね。

途中、岩場などで足や手をケガしてし  
まった子どもは、浜で待機している、「小  
坂こども元気クリニック」の小坂先生に  
診てもらいます。小坂先生は毎年この2  
日目の海の日に、こうやって子どもたち  
の擦り傷や切り傷などを治療してくれて  
います。

お昼は、テントの陰でお弁当。このテ  
ントも中央区に本社のあるコールマンジ  
ャパンからの頂き物。こうやって様々な  
人に支えられているわんぱく KIDS です。

午後海でたっぷり遊んだあとは、学  
園に戻り、入浴&夕食です。

みんな朝食の時より、日に焼けて、一  
段と黒くなった姿がなんともたくましい  
です。

夕食後は、地元のボランティアの人を  
講師に招いて宇佐美の歴史と学園の裏山  
にある石丁場遺跡の講演をして頂きました。  
クイズも交えての1時間。明日行く、  
裏山の話ということもあり、みんな興味  
津々で話を聞いていました。

またこの日から昨年からの、好評得て  
いる、希望者による野外でのテント泊を  
実施。

都会に住む子どもたちは、星空の下で  
眠るという経験はあまりしたことがない  
ようです。高学年の男女に希望をとり、  
ジャンケンで泊まる人を決めました。テ  
ントの中は最初は暑いけど、夜も更けて  
くると風が通るようになり、涼しくなり  
ます。

蚊取り線香の懐かしい香りとともに、  
テント泊の子どもたちも、そうでない子  
も就寝。寝付けない子もいますが、リー  
ダーたちが本の読み聞かせをしてくれて  
いるので、徐々に眠っていたようです。

明日も晴れるといいですね！

第3日目(8月7日 金曜日)

天候：晴れ

3日目は、班ごとに活動する一日です。用意されているプログラムは「竹細工&工作・裏山遺跡散策・プール」の3つと班別自由時間です。班毎にローテーションで体験。

まずは竹細工&工作。竹細工では、地元の竹職人の方にご協力を頂き、竹かごをつくりました。この竹かごは小学生にとってはなかなか難易度が高く、みんな悪戦苦闘。しかし事前に竹職人の方がはじめにデモンストレーションをしてくれたり、事前準備をしてくれていたため、挑戦した子どもたちはなんとか完成までこぎつけることができました。できあがりには千差万別。とってもキレイな竹かごから個性的な形?をした竹かごまで・・・(笑)様々です。でもみんな自分だけの竹かごを作れたことがうれしそうです。よかったね!

低学年で竹かごを作るのが難しい児童は、裏山で拾ってきた木材や、竹かごで余った、竹を使って工作をしました。こちらはキャンプの専門家である、あそび心研究所の方にご協力を頂きました。箆や竹トンボなどといったスタンダードなものから、バードコールという一風変わったものも作成。このバードコールは木材にドリルに穴をあけ、特殊な金属をねじ込みます。そのねじ込んだ金属をクルクルと回すと、なんとも不思議!「キュッキュッ・・・」とまるで本当に鳥が鳴いている音がします。

これを持って、次の裏山散策に行ったら、楽しみも倍増するかも!?

続いては、裏山遺跡散策では、昨夜お話し頂いた、江戸城宇佐美石丁場遺跡保存会の森さんのガイドのもと、宇佐美学園の裏にある、裏山を散策。この裏山の遺

跡から掘り出された石が、今でも江戸城の石垣に使われています。子どもたちからは、「この石に書いてあるしるし(刻印)はどうやって掘ったの?」とか、「江戸城までどうやって運んだの??」などなどの質問が挙がります。それに丁寧に森さんが回答。1時間という大人でも少しハードな裏山散策でしたが、子どもたちは弱気なところを見せることなく、楽しんでいました。

子どもたちが喜ぶプール!

リーダーと一緒に、ビート板、ダイアモンドなどをつかって、遊んでいました。昨日も海で遊んだというのに、水遊びはやっぱり楽しい!

子どもたちの笑い声が、宇佐美学園いっぱい広がっていました。

夜は体育館、4日目に行く、カレーコンテストの材料決めゲーム。

全体で輪になって、フラフープを通す「フラフープ通し」や、ジャンケンをして、電車のように列になっていく「ジャンケントレイン」など班対抗のレクリエーションをいくつか行いました。班対抗ということもあってか、班の結束が増したようです。

希望の食材が揃う班。「だいこん・さといも・ピーマン」といったカレーではなかなか使わない食材だけが集まってしまった班などなど、明日できあがるカレーが今から楽しみです。

消灯後、見回りに行くと、この日はハイキングにプールとさすがに疲れたのか、子どもたちは昨日までとは打って変わって、男の子も女の子もグッスリと眠っている様子。寝顔がとってもかわいいです。

また明日もいっぱい遊ぼうね!



第4日目(8月8日 土曜日)

天候：晴れ

天気は快晴！4日間の中で一番天気のいい日かもしれません。

4日目は、「食の一日」。

まずは最近、「築地魚河岸の三代目兼ウオガシスト」として、メディアに多数出演し、NPO・FC理事も務めている、生田與克氏から子どもたちに、生き物をたべることは生命を頂いていることだっ！！という主旨の、魂の講演を実施。

生田氏はわんぱく KIDS 第1回目から関わっている、言わばわんぱく KIDS 歴史の証人です。その生田氏がわんぱく KIDS 初回から大事にしている食に対する熱い思いを子どもたちに語りかけました。すると、普段は難しい話には、なかなか簡単には興味を示してくれない、子どもたちですが、話している内容と、話す技術がとてもいいのか、子どもたちに共感と感動を与えたようで、この後の昼食では、残飯がほとんど出ませんでした。

中には、スイカの皮ギリギリまで食べている子や、ミニトマトのヘタまで食べてしまっている子も・・・(苦笑)

とにかく、「食べること」の意味を少しでも気づいてくれたようで、とてもステキな講演になりました。

講演の後は、生田氏と地元の魚屋さんにご協力を頂き「ひものづくり」。

ここでも生田氏のレクチャーの効果があつたのか、毎年2、3名は必ずいる「目が怖あ～～い」などという子も出ず、みんな楽しそうに魚をさばっていました。出刃包丁なんて、大人でもなかなか触る機会はありませんよね。

できたひものは最終日、ご家庭へのお土産になりました。

続いて午後はカレーづくり。

今年もコンテスト形式で順位をつけるため、どこの班も優勝を目指して、真剣そのものです。前日の食材ゲームで決まった食材にプラスして、ハチミツやトウガラシ、ガーリックやガラムマサラなどのオプションを利用して、思い思いにカレーを作っていました。4日目にもなるとどこの班もチームワークがいい！リーダーだけでなく、高学年の子が、低学年の子をうまく役割分担をし、引っ張っています。とてもいい雰囲気です！

夜は、カレーコンテストの結果発表と各班ごとで思い出の発表。

今年も、なかなか順位をつけるのが難しかったカレーコンテスト。審査員が優勝から第3位までをなんとか決定し、発表しました。

入賞した班は賞状をもらい、とてもうれしそう。でも本当に接戦でした。入賞した班もそうでない班も、ありがとうございました&ごちそうさまでした！

最後は、班ごとに思い出発表。

初日や2日目では、みんなが集まっていると前に誰かが立っても、「ワイワイ、ガヤガヤ・・・」と騒いでいましたが、この日の発表はみんなが静かに聞いています。これも4日間の成長ですね。田んぼや小川体験、裏山散策、ひものづくり、テント泊・・・子どもによって楽しかったことは異なります。中には、「班の目標が達成できてよかったです！」なんて、おもわず私たちがウレシクになってしまうような発表も！

いよいよ明日でわんぱく KIDS もおしまいです。最終日はみんな笑顔で保護者に会おう！！

第5日目(8月9日 日曜日)

天候：晴れ時々曇り

5日目はまず、部屋の清掃および復帰からスタート!!「自分たちで使ったものは自分たちできれいにし、元に戻す。」これもわんぱく KIDS の理念のひとつです。

5日間お世話になった、宇佐美学園に感謝の気持ちを持って、使った部屋、トイレ、多目的ルームなどを清掃し、宇佐美学園のレイアウトを元に戻します。

今年は、なるべく運営のスタッフは手伝わずに、リーダーと子どもたちに清掃や復帰を任せる部分を多くしてみるという、チャレンジを試みました!その試みが奏功し、宇佐美学園の方から、例年にも増して、キレイに復帰されたので、お褒めのコトバを頂くことができました!

これは私たち運営側にとっても、とてもうれしいことです。

リーダー&子どもたち!みんなありがとう!!

そしてそして、ついに宇佐美学園を出発!行きは大変だった坂道は帰りは下り。楽チンだけど、車には気をつけて・・・。

バスに乗って、初日にも訪れた、小田原へ・・・。

道中、子どもたちは元気!リーダーたちは・・・スヤスヤ・・・?(笑)

最終日は小田原の、「石垣山一夜城歴史公園」で過ごします。ここは、戦国時代豊臣秀吉が築城した石垣山一夜城の跡地を整備した公園で、国指定の史跡公園になっています。国指定ということもあってか、整備が行き届いているだけでなく、バッタやトンボなどの昆虫もたくさん住んでいて、自然を感じることもできる場所です。

ここでは、最後になる班ごとの記念撮影。明らかに初日にとった写真と、笑顔

が違います。

カメラを向けると、捕まえたバッタを自分の口元にやる子ども。オイオイ。それはいくらなんでも食べちゃダメだぞ!(笑)

公園でひとしきり遊んだあと、いよいよ東京へ帰ります。帰り路はさすがに疲れている子どもも多いだろうと思い、バスの運転手さんに頼んで、アニメのビデオを上映。寝てしまう子どもたちが多いだろうと予測していたハズが・・・子どもたちは勿論のこと、リーダーたちまでもが、ものすごく真剣に見入っています。

最後まで、ゲンキなわんぱく KIDS の参加者たちでした!!

解散場所の中央区役所前に着くと、ひものなどを渡され、各自で解散。

やっぱりお母さんやお父さんにひさしぶりに会えてうれしそうな子ども。

最後まで友達とじゃれあっている子ども。

子どもたちから、サプライズで寄せ書きをもらって、感動して泣いているリーダー。

今年で記念すべき10回目を迎えることができた、わんぱく KIDS。参加者・リーダー・保護者・宇佐美学園・協賛団体・・・様々な方のおかげで、今年もステキなキャンプになりました!

本当に皆様、ありがとうございました!!

また会おうね!!

## 協 賛

晴海ライオンズクラブ  
伊豆山漁業(株)  
(株)セントラルエステート  
魚河岸野郎(株)  
ブレーステッド(株)  
(株)サヨカ  
神林印刷(株)  
(株)マウンテン・ワン  
(株)シゲマツ  
大槻経営労務管理事務所  
マーナマリー(有)  
(株)ソニックジャパン  
ライオンファイル(株)  
(有)佐藤弘造製作所  
斉藤会計事務所

コールマンジャパン(株)  
(株)隅田屋商店  
(株)ネオ・コミュニケーションズ  
小坂こども元気クリニック  
タチバナアーツ管理(株)  
昭和工機(株)  
林 克昌  
谷中和也税理士事務所  
設樂雄一郎法律事務所  
(株)サプル  
平和農産工業(株)  
オ エスシーコンサルティング(株)  
富江洗心堂  
バレーパーキングシステムズ(株)

( 順不同 敬称略 )